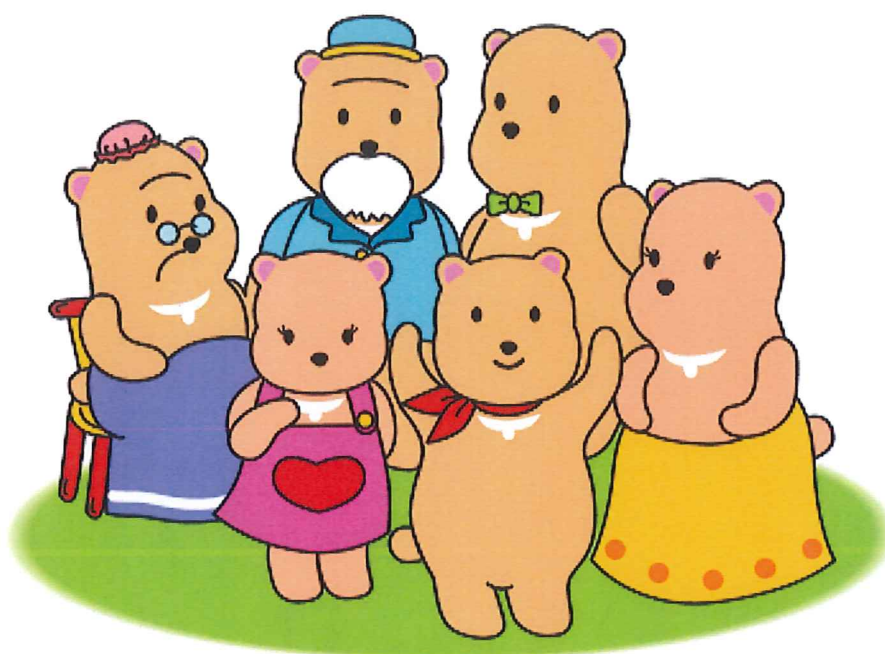


エコアクション21 環境経営レポート2021



 常盤工業株式会社

2021年12月1日作成

目次

1. 環境経営方針	2
2. 組織の概要	3
3. 対象範囲・実施体制	4、5
4. 環境経営目標・計画・実績	6、7、8
5. 環境負荷実績値	9、10
6. 環境経営の取組結果と評価及び次年度の取組内容	11
7. エコアクション活動の取り組み	12
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	13
9. 緊急事態の対応に対する訓練	14
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	15

1. 常盤工業株式会社 環境経営方針

[基本理念]

私達は、子供たちの未来のために地球環境の保全を心掛け、地球人口100億人時代が到来しても全地球人が幸せに暮らしていけるような「資源循環型社会」の構築に貢献します。

[行動指針]

- 1 地球環境保護のため、お客様に省エネ住宅、省エネ施設、省エネ改修などの提案を積極的に行い、併せて環境に配慮した工事方法を工夫していきます。
- 2 省エネを推進し、二酸化炭素排出量削減に努めます。
- 3 水利用量および排水量の削減に努めます。
- 4 リサイクル活動を推進し、廃棄物排出量削減に努めます。
- 5 事務用品や原材料のグリーン購入を促進します。
- 6 全社員に環境教育を行い、環境保全の意識を高めます。
- 7 組織に適用される環境に関する法規等を遵守します。
- 8 環境経営レポートを社内外に公表し、コミュニケーション活動を積極的に行います。
- 9 環境経営を事業発展のチャンスと捉え、継続的改善を誓約します。

制定日	平成25年11月1日
改定日	令和元年09月1日

常盤工業株式会社
代表取締役 市川 浩透

2. 組織の概要

1. 事業者名及び代表者名

常盤工業株式会社 代表取締役 市川 浩透

2. 所在地

本社： 静岡県浜松市中区新津町197番地

和田展示場： 浜松市東区和田町805番地

3. 管理責任者及び担当者連絡先

責任者： 代表取締役 市川 浩透

TEL: 053-461-9156 FAX: 053-461-7956 E-Mail: h-ichikawa@tokiwak.co.jp

担当者： 総務本部 係長 鈴木 秀俊

E-Mail: h2-suzuki@tokiwak.co.jp

4. 事業内容

総合建設業（建築一式、土木一式、大工、左官、とび土工、石、屋根、タイル・レンガ・ブロック、鋼構造物、鉄筋、ほ装、しゅんせつ、板金、ガラス、塗装、防水、内装仕上、熱絶縁、建具、水道施設、解体、造園）、建物再生事業、不動産事業、損害保険代理店事業

建設業許可： 静岡県知事(特-29)第3970号

一級建築士事務所： 静岡県知事登録(14)第546号

宅地建物取引業免許： 静岡県知事(7)第10287号

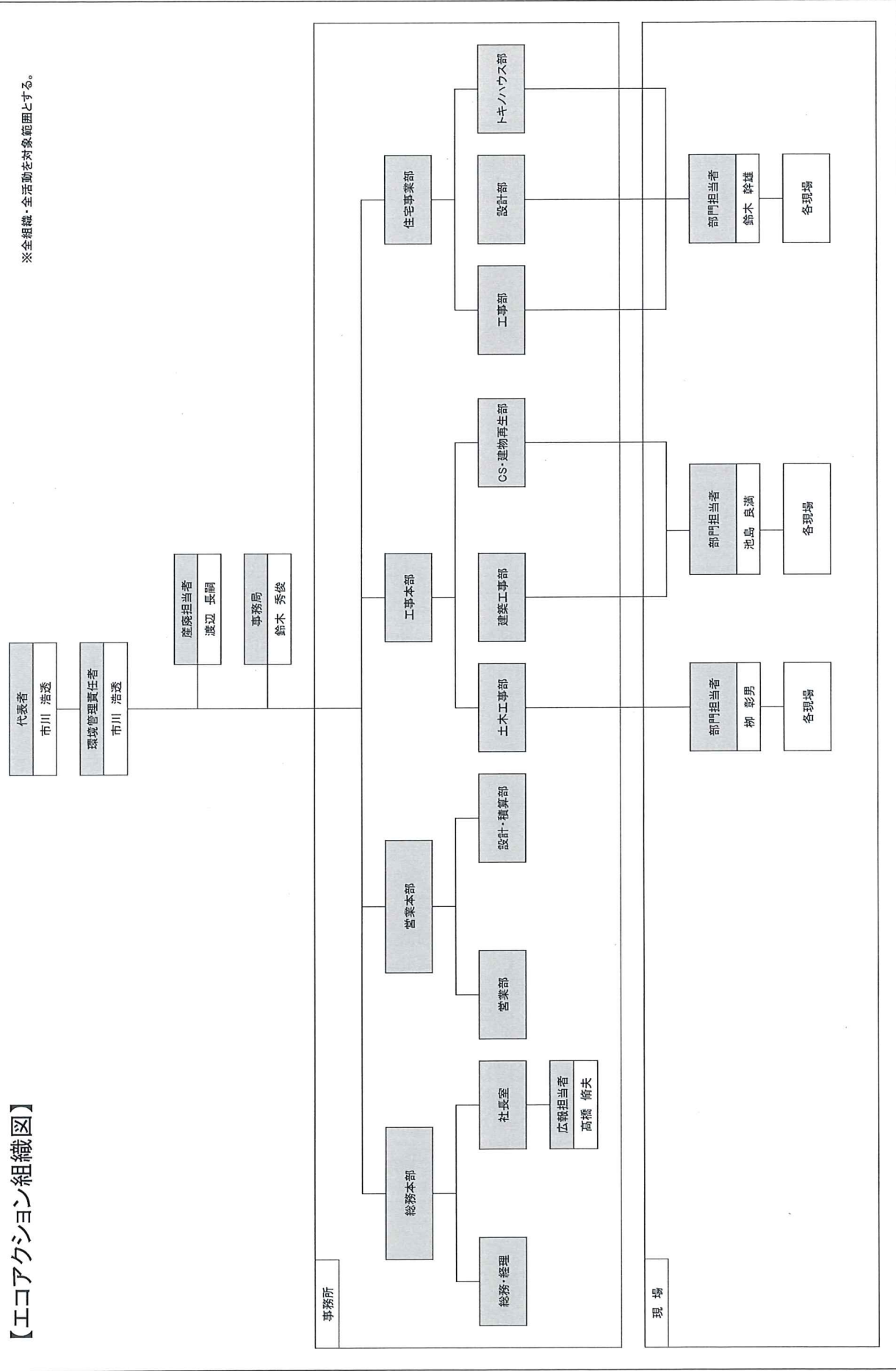
5. 事業の規模

活動規模	単位	69期 (H30.10~R01.9)	70期 (R1.10~R02.9)	71期 (R2.10~R03.9)
売上高	百万円	3,629	4,452	3,755
従業員	人	82	89	93
事務所床面積	m ²	1153.58		
倉庫床面積	m ²	1782.32	1065.88	1065.88

3. 対象範囲・実施体制 (1) 認証・登録範囲

【エコアクション組織図】

※全組織・全活動を対象範囲とする。



3. 対象範囲・実施体制 (2) 担当と責務

担当者	役割・責任・権限
代表者： 代表取締役 市川 浩透	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21に関する代表責任者 ・エコアクション21実施における人材、設備、費用を用意する。 ・環境管理責任者の任命を行う。 ・環境経営方針の制定、改訂及び全社員への周知 ・代表者による全体の評価と見直しを実施する。 ・環境マネジメントシステムの承認
環境管理責任者： 代表取締役 市川 浩透	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステム全体の構築、運用、維持に関する実務上の権限を有する。 ・代表者への報告 ・環境マネジメントシステムの構築、実施及び運用管理 ・環境事務局の文書作成案に対するチェック及び改訂の指示 ・環境経営への評価及び次年度の取り組み事項の決定 ・環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況のチェック ・環境経営レポートの確認
産廃担当者： 渡辺 長嗣	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物(一般・産業廃棄物)の分別管理 ・廃棄物の排出量の管理(実績集計) ・産廃に関する環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況のチェック
事務局： 総務本部 鈴木秀俊	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21における文書の作成 ・環境経営目標及び環境経営計画案の作成 ・環境負荷の自己チェック、取組の自己チェックの実施 ・環境経営レポートの作成 ・エコアクション(美観)パトロールの実施及び展開 ・環境活動の実績集計及び目標進捗状況の確認
総務本部 広報： 高橋 脩夫	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクションポスターの作成と掲示 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・CSR活動の計画と連絡調整 ・CSR活動における目標設定及び実績報告書の作成
部門担当者： 建築工事部 池島 良満 土木工事部 柳 彰男 住宅事業部 鈴木 幹雄	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門における環境マネジメントの実施 ・環境目標及び環境活動計画案の作成 ・各記録の実施 ・問題点のチェック及び予防処置の実施 ・緊急事態のマニュアル作成及び試行訓練の実施
現場所長	<ul style="list-style-type: none"> ・各現場で使用した資源の使用量を実績報告(毎月)
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の確認・理解 ・各個人における環境マネジメントシステムの実施 ・環境負荷に対する積極的活動

4-1 環境経営目標(原単位)

取組項目		対象	単位	進捗確認 頻度	68期	69期	70期	3期 平均	71期	72期	73期	74期	75期	
					実績	実績	実績	基準値	目標	目標	目標	目標	目標	
1	二酸化炭素 総排出量の削減	電力	事務所	kg-CO ₂ /人	毎月	352.74	332.50	307.02	330.75	329.10	327.45	325.82	324.19	322.57
		ガソリン		kg-CO ₂ /人	毎月	2075.17	2086.76	1844.97	2002.30	1992.29	1982.33	1972.42	1962.55	1952.74
		都市ガス		kg-CO ₂ /人	毎月	197.91	185.55	196.17	193.21	192.24	191.28	190.33	189.37	188.43
		電力・化石燃料	現場	kg-CO ₂ /百万円	毎月	/	/	/	/	現状把握	0.5%減	1.0%減	1.5%減	2.0%減
2	コピー用紙購入数量の削減	全体	t	1年	2.42	2.32	1.76	2.17	2.16	2.15	2.13	2.12	2.11	
3	産業廃棄物 再資源化率の向上	現場	%	1年	/	/	95.00	95.00	95.5	95.4	95.6	95.8	96.0	
4	水使用量	事務所	m ³ /人	2ヶ月毎	9.79	8.71	8.56	9.02	8.97	8.93	8.89	8.84	8.80	
5	社会貢献活動	清掃活動	全体	回数/年	2ヶ月毎	10	10	10	10	10	10	10	10	10
		ボランティア活動	全体	件数/年	2ヶ月毎	/	/	/	/	10	10	10	10	10
6	環境に配慮した 建築物の提案 件数	建築	現場	回数/年	2ヶ月毎	/	/	/	/	現状把握	+1	+2	+3	+4
		土木			2ヶ月毎	/	/	/	/	+1	+2	+3	+4	
		住宅			2ヶ月毎	/	/	/	/	+1	+2	+3	+4	

※1 事務所の二酸化炭素総排出量及び水使用量は、従業員1人あたりの目標値とし、目標設定基準は、直近の過去3ヵ年

(68期・69期・70期)の平均値を基準値とする。(70期から75期までは、基準値より0.5%ずつ削減または向上とする。)

※2 二酸化炭素排出量の算出は、2017年中部電力の調整後排出係数 0.472 kg-CO₂/kWh を用いて計算している。

4-2 環境経営計画

目的	区分	項目	責任者	担当	取組内容	活動時期
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	鈴木秀俊	全社員	①消灯の徹底	都度
					②No残業デーの推奨	
					③PC長期離席時、電源OFFの徹底	
	ガソリン	車両	社長	全社員	①アイドリングストップの励行	毎日
					②エコドライブの徹底(急発進・急加速・急停車等の禁止)	
					③車両の定期点検(タイヤ空気圧・不要積載物の確認)	
	都市ガス	空調	鈴木秀俊	全社員	①エアコンの設定温度調節(下記28℃、冬期)	毎日
					②クールビス・ウォームビスの推奨	
	購入電力 化石燃料	照明 重機	部門担当者	現場監督	①重機のアイドリングストップの励行	毎日
					②現場事務所内の消灯の徹底	
廃棄物の削減	コピー用紙の 使用量削減	鈴木秀俊	全社員	①コピー用紙の両面使用・裏紙使用	毎日	
				②封筒の再利用		
				③ペーパーレス化の推進(紙媒体からデータ化)		
	産業廃棄物の 再資源化率の向上	渡邊	現場監督	①廃棄物の分別化	毎日	
②プレカットの推進						
③仮設資材、用具のリユース化						
節水	上水	鈴木秀俊	全社員	①節水表示	毎日	
				②漏水点検		
環境配慮	特定工事他	部門担当者	現場監督	①特定工事での施工計画への反映	随時	
				②環境配慮工事の提案		
地域貢献	ボランティア・清掃等	高橋	全社員	①本社及び現場の近隣道路清掃	毎月1回	
				②お宮の清掃	年1回	
				③ボランティア活動の推進	都度	

4-3 環境経営実績(原単位)

取組項目		対象	単位	進捗確認頻度	68期	69期	70期	3期平均	71期		達成率 (%)	評価	
					実績	実績	実績		目標	実績			
1	二酸化炭素 総排出量	電力	kg-CO2/人	毎月	352.74	332.50	307.02	330.75	329.10	270.43	121.69	◎	
		ガソリン	kg-CO2/人	毎月	2075.17	2086.76	1844.97	2002.30	1992.29	1781.61	111.83	◎	
		都市ガス	kg-CO2/人	毎月	197.91	185.55	196.17	193.21	190.22	175.19	108.58	○	
		電力・化石燃料	kg-CO2/百万円	毎月	/	/	/	/	現状把握	23.33	-	/	
2	コピー用紙購入数量の削減	事務所	t	1年	2.42	2.32	1.76	2.17	2.16	2.01	107.46	○	
3	産業廃棄物 再資源化率の向上	現場	%	1年	/	/	95.00	95.00	95.20	95.90	100.74	○	
4	水使用量	事務所	m ³ /人	2ヶ月毎	9.79	8.71	8.56	9.02	8.97	8.37	107.17	○	
5	社会貢献活動	清掃活動	全体	回数/年	2ヶ月毎	10	10	10	10	10	10	100	○
		ボランティア活動	全体	件数/年	2ヶ月毎	/	/	/	/	10	10	100	○
6	環境に配慮した建築物の(提案)件数	建築	現場	件数/年	2ヶ月毎	/	/	/	/	現状把握	1	-	/
		土木	現場	件数/年	2ヶ月毎	/	/	/	/	現状把握	3	-	/
		住宅	現場	件数/年	2ヶ月毎	/	/	/	/	現状把握	4	-	/

※1 過去3ヶ年(68期・69期・70期)の平均値を基準値とする。

※2 評価:◎(達成率110%超)、○(達成率100%以上~110%未満)、△(達成率90%以上~100%未満)、×(達成率90%未満)

5-1 環境負荷の実績値

【事務所】

項目	単位	実績値						
		66期	67期	68期	69期	70期	71期	
1	二酸化炭素総排出量	kg-CO2	198,049	196,099	212,692	213,594	209,386	207,133
2	電力使用量	KWh	59,290	61,509	60,278	57,765	57,894	53,284
	ガソリン使用量	リットル	67,955	65,552	72,400	73,756	70,777	71,418
	灯油使用量	リットル	49	118	260	100	160	0
	都市ガス使用量	m ³	5,447	6,600	7,171	7,044	8,083	7,543
3	一般廃棄物排出量	トン	9.3	9.3	11.1	11.2	10.0	10.4
4	水使用量	m ³	790	894	793	714	762	778

【建設現場】

項目	単位	実績値						
		66期	67期	68期	69期	70期	71期	
1	二酸化炭素総排出量	kg-CO2	78,628	24,482	25,790	18,238	22,508	87,633
2	電力使用量	Kwh	98,666	21,061	37,566	22,580	36,536	71,581
	ガソリン使用量	リットル	1,276	1,043	707	529	177	3,952
	軽油使用量	リットル	10,208	3,196	1,130	1,060	1,782	17,144
	灯油使用量	リットル	160	118	0	60	54	180
	LPG使用量	kg	40	56	24	56	40	0
3	産業廃棄物排出量	トン	5,848	3,234	5,368	4,502	5,437	4,835
4	水使用量	m ³	754	2,507	606	264	510	852

※70期までの二酸化炭素排出量及び化石燃料使用量は、完工高5千万円／件の工事を抽出し集計していた。
71期(以降)については、全工事を対象に集計する方法に変更している。

5-2 環境負荷の実績値

年度別		H28年 (66期)	H29年 (67期)	H30年 (68期)	H31年 (69期)	R2年 (70期)	R3年 (71期)
売上高	百万円	4,541	4,029	4,443	3,629	4,452	3,755
従業員数	人	78	79	81	82	89	93

【事務所】

CO2排出量		H28	H29	H30	H31	R2	R3
購入電力	Kg-co2/人	360.29	369.05	352.74	332.50	307.02	270.43
ガソリン	Kg-co2/人	2022.68	1926.46	2075.17	2086.76	1844.97	1781.61
都市ガス	Kg-co2/人	156.12	186.76	197.91	185.55	196.17	175.19

購入電力	Kg-co2	28,103	29,155	28,572	27,265	27,325	25,150
ガソリン	Kg-co2	157,769	152,190	168,089	171,114	164,202	165,690
都市ガス	Kg-co2	12,177	14,754	16,031	15,215	17,459	16,293

一般廃棄物		H28	H29	H30	H31	R2	R3
一般排出量	Kg/人	131.41	117.85	138.15	136.48	112.17	111.34
再資源化量	Kg/人	64.87	54.56	66.42	80.35	60.00	61.88
再資源以外	Kg/人	66.54	63.29	71.73	56.12	52.17	49.46

一般排出量	Kg	10,250	9,310	11,190	11,191	9,983	10,355
再資源化量	Kg	5,060	4,310	5,380	6,589	5,340	5,755
再資源以外	Kg	5,190	5,000	5,810	4,602	4,643	4,600

排水量		H28	H29	H30	H31	R2	R3
本社 水道水	m ³ /人	10.13	11.32	9.79	8.71	8.56	8.37

水道水	m ³	790	894	793	714	762	778
-----	----------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

【建設現場】

CO2排出量		H28	H29	H30	H31	R2	R3
購入電力	Kg-co2/百万円	21.73	5.23	8.46	2.94	5.17	9.00
ガソリン	Kg-co2/百万円	0.65	0.60	0.37	0.34	0.24	2.44
軽油	Kg-co2/百万円	5.81	2.05	0.66	1.66	1.61	11.78

		28.19	7.88	9.48	4.94	7.02	23.22
購入電力	Kg-co2	98,666	21,061	37,566	10,657	23,020	33,786
ガソリン	Kg-co2	2,964	2,422	1,642	1,228	1,053	9,168
軽油	Kg-co2	26,401	8,266	2,923	6,035	7,162	44,230

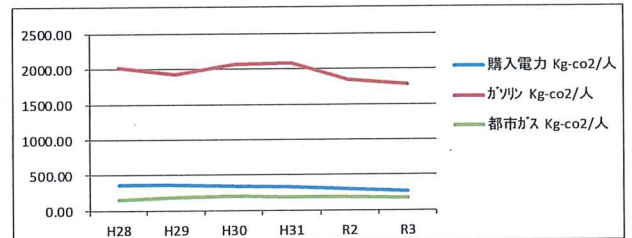
産業廃棄物		H28	H29	H30	H31	R2	R3
産廃排出量	t/百万円	1.29	0.80	1.21	1.24	1.20	1.29
再資源化量	t/百万円	1.07	0.65	1.05	1.01	1.15	1.23
再資源以外	t/百万円	0.22	0.15	0.16	0.23	0.05	0.06

産廃排出量	t	5,849	3,234	5,369	4,502	5,335	4,835
再資源化量	t	4,851	2,619	4,674	3,671	5,100	4,611
再資源以外	t	998	616	696	831	235	224

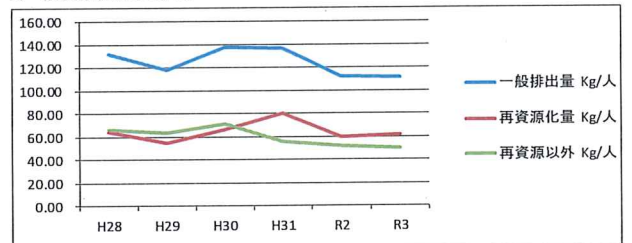
排水量		H28	H29	H30	H31	R2	R3
現場 水道水	m ³ /百万円	0.17	0.62	0.14	0.07	0.23	0.23

水道水	m ³	754	2,507	606	264	1,006	852
-----	----------------	-----	-------	-----	-----	-------	-----

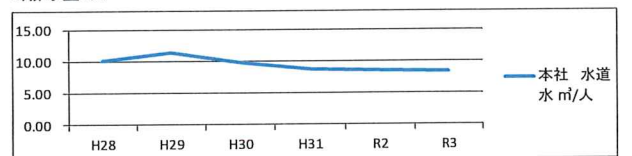
1)CO2排出量/人



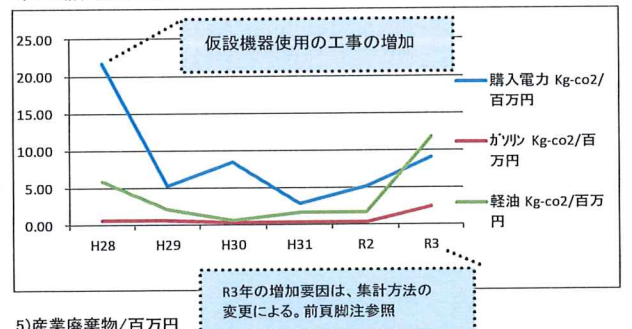
2)一般廃棄物排出量/人



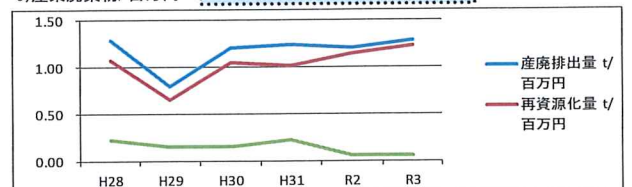
3)排水量/人



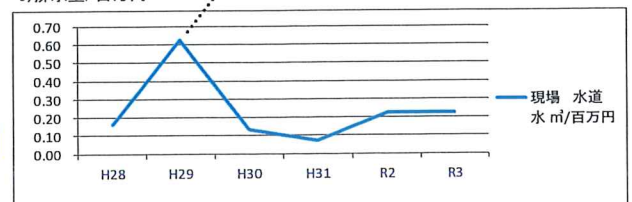
4)CO2排出量/百万円



5)産業廃棄物/百万円



6)排水量/百万円



6. 環境経営の取組結果と評価及び次年度の取組内容

取組項目		対象	評価	評価に対するコメント及び次年度の取組事項	
1	二酸化炭素 総排出量の削減	電力	事務所	◎	日々の照明の節電意識と行動の結果です。 次年度も引き続き意識の高揚と節電実践に取り組みます。
		ガソリン		◎	エコドライブ運動の実践結果です。 次年度も引き続き、エコドライブ運転の意識高揚に取り組みます。
		都市ガス		○	日々の空調設備(エアコン)の節電意識と行動の結果です。 次年度も引き続き意識の高揚と省エネ活動に取り組みます。
		電力・ 化石燃料	現場		前期までは、完工高5千万円以上の工事に限定して集計し目標化していましたが、 今期より全工事を対象にした目標設定を行うべく実態把握を行いました。 新たな目標設定をしたうえで、省エネ重機の使用や仮設電力の節電を徹底し、次年度以降も引き続き、CO2削減に取り組みます。
2	コピー用紙の使用量削減	事務所	○	今期よりコピー用紙の購入量の削減を目標としました。 ペーパーレス化の推進、裏紙使用の徹底を図り、目標達成しました。 次年度はさらなるペーパーレス化を推進します。	
3	産業廃棄物 再資源化率の向上	現場	○	今期からは、産業廃棄物の再資源化率の向上を目標とし、仮設資材等のリユース化に取り組みました。次年度も引き続き、再資源化率の向上に努めます。	
4	水使用量	事務所	○	日々の節水意識と行動の結果です。 次年度も事務所内での節水の実践を継続していきます。	
5	社会貢献活動	清掃活動	全体	○	9月のお宮周りの清掃は、コロナウィルスの感染予防より延期とし、 毎月の地域清掃活動は例年どおり実施しました。 次年度も引き続き、会社及び現場周辺の清掃活動により一層取り組みます。
		ボランティア活動	全体	○	今期よりボランティア活動年間10件を目標に設定し、実績10件で目標達成しました。 活動内容としては、非常勤消防団に社員2名の加入やホワイトリボンへの参加。 その他、SDGs現場見学会を現場にて近隣の小学生をお招きして電線を地中化する工事について説明をしました。次年度も引き続き、ボランティア活動に積極的に取り組みます。
6	環境に配慮した建築物の(提案)件数	建築	現場		今期は、環境に配慮した建築物として新本社をZEB施工(Nearly ZEBの実現 25%以下)を 目標に設定し、計画どおり完成しました。併せてZEBプランナー認証も取得しました。 次年度からは、対象現場 完工高1億円以上の建築物物件に産廃の分別を徹底し、廃棄物の 削減を目標に設定し、取り組んでいきます。 標準モデル：コンテナ設置(混廃・プラスターボード・鉄くず・段ボール)
		土木			今期より環境に配慮した工事の施工件数を目標に設定しました。具体的な取組内容として は、ICT活用の施工、再生材料の活用件数を目標にしました。今期は現状把握のため、 次年度は5件を目標に設定し、取り組んでいきます。
		住宅			今期より太陽光パネルの設置提案件数を目標に設定しました。今期は現状把握のため、 次年度は6件を目標に設定し、取り組んでいきます。

※環境に配慮した建築物の(提案)件数については、過去実績が無いため、今期は現状把握とし、評価対象にはしていない。

7. エコアクション活動の取組事例

美観パトロール・5S活動

現場事務所



【地域の安全確保及び働き方改革現場】



環境配慮素材「バガスペーパー」を名刺に使用

バガスペーパー

バガス(サトウキビの搾りカス)は、世界で年間約12億トン生産されるサトウキビから約1億トン発生します。一部は燃料や家畜の飼料などに使用されていますが、産業廃棄物として廃棄されるものも少なくありません。この本来廃棄されるバガスを原料に作られた用紙がバガスペーパーです。



サトウキビ(非木材資源)からつくられた、バガスパルプ配合の環境対応紙を使用しています。

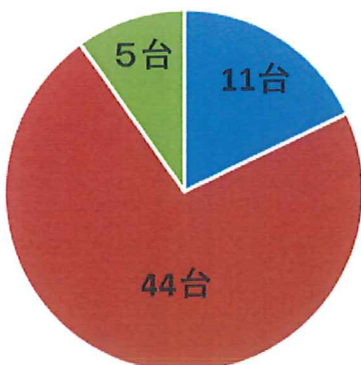
- 木材パルプの代替原料・森林資源の保護
- 漂白に塩素を使用せず有機塩素化合物を排出しない
- 原料は隣接する砂糖工場から運ばれ、伐採、集荷、運搬に関わるエネルギーが不要(省エネ・温暖化防止・CO2削減)

エコドライブ

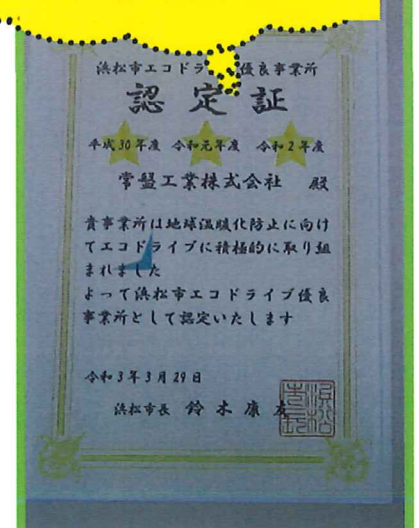
- ・参加台数 : 68台(令和3年9月30日現在) ※前年対比 28台増
- ・平均燃費 : 14km/L

優良事業所として、
3年連続 認定されました!

燃費グラフ



- 10km未満
- 10km以上20km未満
- 20km以上



8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

評価日 令和3年9月30日
 遵守確認者：市川 浩透

適用対象	法規・条例・規制	違反、訴訟等はありません	関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟なども過去3年間ありません	適用内容または規制基準	実施事項	遵守状況	適法 評価結果
建設業 建築・土木 工事工業	建設リサイクル法	第9条、第10条第12条、 第16条、第18条	指定物品のリサイクル	現場で分別解体と再資源化 再資源化の実績の記録の作成・報告・保管	○	マニファストで管理	適法 評価結果
		第6条の2	事業系一般廃棄物の適正処理	事業系一般廃棄物収集許可業者への委託	○	許可業者へ委託	
		第12条	産業廃棄物の処理または委託基準の遵守、多重排出事業者の削減活動の実施及び削減計画提出報告(産廃1000t又は特産廃50t以上)	産業廃棄物の削減活動の実施及び削減計画提出報告	○	6/30迄に浜松市へ提出	
		第12条の2	特別管理産業廃棄物管理責任者の選任	選任	○	社長	
			マニファストの交付義務、記載義務	マニファストの適正な作成	○	適正な作成	
			マニファストの保管・管理	5年間保管(2・D・E票)	○	5年間保管	
		第12条の3	マニファストの期間内の返却の確認	90日以内又は180日以内返却の確認	○	期間以内の返却確認	
		第12条の4	マニファスト管理票交付状況報告書の提出	6月末日までに提出報告	○	5年間保管	
		第16条	虚偽管理票交付の禁止	法令順守	○	虚偽無し	
		第6条	産業廃棄物の投棄禁止	法令順守	○	適正処理	
		第4条	産業廃棄物の収集、運搬、処分等の基準	水銀使用製品保管増の仕切り、表示、委託契約「水銀含有」 教育を行う	○	処理基準適合 エコアクション活動を通して教育	
事業者 全般	浜松市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第5条	産業廃棄物管理責任者の選任	選任	○	社長	適法 評価結果
		第10条	処理委託先の実施確認と記録	確認の実施、記録の保管	○	年度始めに確認	
		第11条	産業廃棄物の不適正な処理に關わる措置等	是正措置及び報告	○	該当なし	
		第3条1項	建設現場の環境配慮対応	環境問題の未然防止	○	建設業許可済み	
		第3条の2	建築物の敷地、構造、設備、及び用途に関する基準の遵守	法令順守(防火・準防火地域内の適用除外)	○	法令順守	
		第5条 浜松市告示第334号	規制基準の遵守	特定工場棟の規制基準の遵守	○	該当なし	
		第14条	特定建設作業の届出	特定建設作業を行う建設工事の届出	○	届出届出	
		第5条 浜松市告示第335号	規制基準の遵守	特定工場棟の規制基準の遵守	○	対象外	
		第14条	特定建設作業の届出	特定建設作業を行う建設工事	○	届出届出	
		第7条 浜松市告示第465号	規制地域内で、悪臭指数基準を遵守	悪臭対象物確認	○	規制基準の遵守	
		第18条 14項・15項	特定粉じん排出作業等に依る規制基準の遵守	石綿を含む解体工事	○	発生の際は対応遵守	
	第5条	「石綿等使用建築物等」の飛散性及び保温材等の解体、封じ込め、囲い込みを含む除去作業	処理計画書の届出 作業主任者の選任	○	発生の際は対応遵守		
	第12条	公共下水道への排出	規制基準の遵守	○	規制基準の遵守		
	第4条	事業者及び使用者の責務	排出ガスの抑制	○	適合J-入庫機使用		
	第17条	基準に適合した特定特殊自動車の使用	基準適合表示の施されたものを使用	○	適合J-入庫機使用		
	第42条	特定解体工事元受け業者の確認及び説明	業務用冷凍空調機の有無確認と説明	○	該当なし		
	第5条	事業者の責務	温室効果ガス排出抑制、自治体施策への協力	○	エコアクション活動を通して協力		
	第11条	事業者の責務	循環的な利用(再使用、再生利用、熱回収)	○	リサイクル法の遵守		
	第5条	事業者及び国民の責務	製品、サービス等、購入にあたり、できる限り環境物品等を選択	○	エコ商品を選択		

備考欄を遵守事項に変更

建設工事に關わる資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)

特定特殊自動車排出ガスの規制法等に関する法律(オフロード法)

フロンの使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法) 平成25年6月12日

廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 平成27年11月11日

9. 緊急事態の対応に対する訓練

訓練名	建設機械からのオイル漏洩に対する緊急対策訓練		
実施日時	令和3年4月16日 13時30分～16時30分		
実施場所	浜松市 浜北区 平口 建設作業現場		
参加人数	エコアクション担当 柳 彰男 他8名		
訓練内容	<p>・ 建設工事作業中に、重機及び車両から作動油やオイルの漏洩を想定した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急用油液処理キットについて 収容数量及び使用方法の確認 ・ オイルキャッチャーシートについて 体験者による使用した時の状況説明 シートへどのように油を吸着させるか 地面や路面の状況によりどう対応するか </div> </div> <p>・ 実際にシートを使用した訓練 シートを実際に敷き、 感触や枚数当たりの面積を確認</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div>		
訓練結果	<p>実際に作業が行われている現場にて重機からオイルが漏れたと想定し訓練しました。 重機の大きさに対しシート1枚の大きさは小さく実際のオイル漏れには準備した以上の枚数が必要であると実感しました。 オイルが環境にできるだけ影響を与えないよう訓練したことで、迅速な対応が可能になりました。</p>		
事故対応マニュアルとの相違の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
相違内容			
事故対応マニュアルの改定の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		
改定内容			

10.代表者による全体評価と見直しの結果

①代表者による確認

項目	確認	必要に応じてコメント
1 エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>	最新版確認
2 環境経営目標および目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	達成率 100% 8/8(評価:○以上の取組項目)
3 環境経営計画および取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	今期の結果を踏まえ、次年度の計画を策定
4 環境関連法規および遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	関連法規はすべて順守
5 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	事務局・社長室を通して対応できている
6 その他	<input type="checkbox"/>	

②代表者による評価

項目	変更必要性		有の場合の指示項目など
	有	無	
1 環境経営方針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
2 環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	現場における二酸化炭素排出量目標の見直し及び環境配慮建築物の提案に係る目標の設定
3 環境経営計画・取り組み項目	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
4 環境に関する組織	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
5 その他環境経営システム要素	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
6 その他	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

③代表者による総評

弊社にとって11年目となる「エコアクション21」活動でした。環境経営目標の達成率が100%となりました。社員の日常におけるエコ意識の向上と地道な実践に取り組んできたことで一定の成果が出せたものと思います。

事業活動全体の中でCO2発生が圧倒的に多いのは、社員が通勤や業務に使用する自動車のガソリン使用量であります。エコドライブの徹底と、自動車を買替える際にはEV車を推奨する等の対策によって、削減していきたいと思います。

72期よりNearly ZEBの新社屋に移転いたしました。新社屋の省エネ性能を社員自ら体感し、旧社屋との比較をすることで、更に意識を高めていきたいと思います。またそれと同時に、積極的に新社屋の見学会などを開催して、環境に配慮した建築物の提案を増やしていきます。

ペーパー削減、再資源化率の向上、水使用量の削減にも引き続き取り組み、社会貢献活動の頻度を増やしていきたいと思います。

令和3年12月1日

常盤工業株式会社

代表取締役 市川 浩透